

## 総代から広がった取り組み！

阪神淡路大震災を経験した神戸。甲南大学生協では大震災を忘れてはいけないと毎年大切にしている1月に、総代の声から防災の取り組みが実現しました！

### 活動概要

日時：1月10日～1月20日

概要：1.17にむけて、震災の写真展を開催  
復興アクションとして、食堂でひまわり油のこくうまみそ汁を提供。



### POINT. 1

#### きっかけは総代の懇親会

今回の取り組みは、117KOBEぼうさい委員会に所属している総代が、総代会の懇親会の際に生協職員に声をかけたことから広がりました。総代会の懇親会は総代とコミュニケーションが取れる場です。総代である学生の声をしっかり聴き、大学生協・大学も協力し、たくさんの組合員に向けて、防災について考える機会を作りました。

### POINT. 2

#### 忘れないように1.17に思いをはせる

1995.1.17に阪神・淡路大震災が起これ、神戸市にある甲南大学は大切な人々や思い出、建物などを失うこととなりました。震災から25年がたち、時間の経過とともに忘れてしまうことのないように、甲南大学では阪神・淡路大震災を大切にしています。

今回、1.17に向けて、震災のパネル展を開催しました。甲南大学の阪神・淡路大震災の記録や災害への備えをパネルや避難所再現にまとめています。このパネル展は117KOBEぼうさい委員会に所属している甲南大学生が中心となって、甲南大学、甲南大学生協、神戸新聞社が協力して開催されました。

阪神・淡路大震災のさまざまな人の経験や教訓を知り、防災について考えるきっかけになってほしいというたくさんの人の願いが込められた取り組みになりました。



大学提供の  
大学周辺の  
被災の様子



大学生協  
提供の  
他大学生協  
からの応援  
メッセージ

[ 機関運営 ]  
×  
[ 防災 ]



甲南大学生協

1・17 防災の取り組み

## POINT. 3

### 復興アクションで 組合員全体で震災について考える

取り組みの2つ目として、「ひまわり油のこくうま味噌汁」を生協食堂で提供しました。ひまわりは阪神・淡路大震災の復興の象徴とされています。117KOBEBぼうさい委員会が取り組んでいるプロジェクトの一環であり、この復興アクションに取り組むことで収益の一部が熊本地震などの被災地への寄付になります。また、組合員が身近なところから25年前の阪神・淡路大震災を考えるきっかけにもなりました。



## POINT. 4

### 組合員や総代が 運営参加しやすい工夫◎

このように総代から取り組みに至った背景には、大学生協全体の共通言語があったこと、毎月総代通信を発行しているなどの大学生協への信頼がありました。

甲南大学生協では毎年、総代会で甲南大学生協の1年のテーマと月ごとのテーマを設け発表しています。このテーマをもとに大学生協全体でさまざまな取り組みをおこなうため、大学生協職員も学生組合員も一緒に盛り上がることができる工夫となっています。

実際にこの取り組みは、2019年度の総代会後の懇親会の際に、1月の「備える」というテーマを見た117KOBEBぼうさい委員会に所属している総代が、「大学生協と一緒になにかしたい！」と声をかけたことから実現しました。



大学生協全体でそのテーマのもと、さまざまな取り組みをおこなっています！



## POINT. 5

### 他団体、大学との連携でよりよい取り組みに！

今回の取り組みは、117KOBEBぼうさい委員会に所属している総代から広がったことから、専門的に考え取り組んでいる団体とともに企画を作ることができたため、正しい知識を組合員に広く伝えることができた。さらに、大学とも連携を取り、さまざまな組合員を巻き込むことができたため、多くの組合員が防災について目を向ける機会をつくることにつながりました！



ご質問や [ K's NEWS ] で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！  
ブロック学生事務局 [ 大内 梨央 ]

Ohuchi.Rio@univ.coop